

恵み野まちづくりフォーラム2024 開催概要

開催日時：令和6年3月21日 18:00～20:00

開催場所：恵み野会館2階 集会室1・2

参加者：91名（関係者含む）

主催：恵み野商店街100年街並み協議会

共催：恵庭市

後援：恵庭商工会議所、恵み野商店会、恵庭市商店会連合会



内容（1）取り組み紹介と空き店舗の全国事例

（2）パネルディスカッション

テーマ：地域の商店街の景観をまもり、つくり、そだてるために

概要

（1）取り組み紹介と空き店舗の全国事例

・取り組み紹介

恵み野商店街100年街並み協議会まちづくり協定部会長の内倉大輔氏より、協議会設立の経緯と現状について報告があり、町内会をはじめとした地域住民やその他活動団体と連携し良好な関係を維持しつつ、100年後の未来も維持できるように、今必要なことを協議会としては実践していきたいとの報告がありました。

続いて、同協議会空き店舗対策部会長の角井良太氏より、現在事業として動いている「恵み野横丁」についての報告がありました。「恵み野横丁」を通して、地域住民にとっては面白い店舗が増え、楽しい商店街を活用できるという計画が展開されればいいと考えているとのことでした。

・空き店舗の全国事例

全国事例は、一般社団法人北海道まちづくり協議会会長の能戸裕之氏から報告されました。能戸氏は独自の視点で空き店舗活用を6つの切り口で分類し、空き店舗対策を軌道に乗せるためのポイントとして、「明確なビジョンを持つこと」、「役割分担や責任を明確化すること」、「情報共有とコミュニケーションを維持すること」、「計画に対する柔軟性と改善の視点を持つこと」、及び「外部機関との連携が必要である」と示されました。

（2）パネルディスカッション

テーマ：地域の商店街の景観をまもり、つくり、そだてるために

パネルディスカッションは下記の構成で行われ、ディスカッション終了後は会場からのいくつかの質問にも回答しました。

◎パネラー

- ・恵み野商店街100年街並み協議 副会長、恵み野商店会 会長 落合 信也氏
- ・美しい恵み野花の街づくり推進協議会 事務局長 内倉 真裕美氏
- ・北海学園大学工学部建築学科 教授 岡本 浩一氏
- ・恵庭市長 原田 裕氏

◎コーディネーター

- ・一般社団法人北海道まちづくり協議会 顧問 森 哲子氏

ディスカッションは、テーマにある「地域の商店街の景観をまもり、つくり、そだてる」について、それぞれの立場から恵み野地区における景観形成のあり方やその関わりなどについて様々な意見が出されました。

最後に、岡本教授から「地域の皆さんとの距離感をどれだけ意識して、長い目で、地味な活動でもじっくり取り組んでいくこと、それが大切だと思います。」とのお言葉をいただき、ディスカッションは終了しました。